

平岡 ふさこ

社民党
公認



ともに生きる、いのちを守る 女性の視点で、人にやさしい街・土浦を

ごあいさつ

私は、35年間小中学校の教員を務めてきました。在職中の私の想いは、子どもたちとのたった一度しか無い出会いを大切に、かけがいのない子どもたちの命と未来を守ることでした。退職した今も、その思いは変わりません。

いま少子高齢化が課題になるなかで、子どもたちを安心して育てられる土浦をつくりたいという想いで、2015年に土浦市議会議員選挙に挑戦しましたが、僅かに及びませんでした。

社会保障の問題も切実な課題です。私は、実父の介護と見送り、実母の介護も体験してきましたが、介護サービスを申請しても受けられない「介護難民」の問題や介護のために離職する方、老々介護の実態も問題化していることを学びました。家庭で介護をしている方々は多くの不安や悩みを持っており、行政のサポート支援を必要としています。

また、コロナ禍で職を失った方も多く、子どもの貧困問題や生活困窮者の増加も社会的問題として支援を必要としています。コロナ禍の影響で、子どもたちの心の問題も深刻化しています。文部科学省の調査では、昨年度茨城県内の全ての小中学校で不登校の生徒が増加し、6411人が不登校となっています。

私は、市民の声を市政にいかす政治を実現したいと思っています。子育て支援の充実、未来を担う子どもたちの教育環境の整備、高齢者の介護・医療福祉の政策の充実を強く訴え、人にやさしい街・土浦、いのちが大切にされる・土浦をつくるために、全力で取り組む決意です。皆さまのお力をお貸しください。

平岡ふさこ

討議資料

●プロフィール

1953年（昭和28）2月7日、かすみがうら市（旧出島村）に生まれる
1971年 茨城県立土浦第二高等学校卒業
1975年 茨城大学教育学部卒業
1975年4月～2010年3月まで、茨城県公立学校教員として35年間勤務。土浦市立都和中・菅谷小・上大津西小などの小中学校に勤務。スポーツ振興に深く関わり日本水泳連盟上級指導員、県水泳連盟地域指導者委員、水泳連盟競技役員・審判員を歴任（現在も指導員、委員を続ける）

2015年 土浦市議会議員選挙に挑戦
現在 退職女性教職員の会土浦支部事務局長
茨城平和擁護県民会議会員
社民党土浦支部女性委員長

家族：夫、娘2人（市内居住）
趣味：寺社巡り、水泳、読書、野菜作り
好きな音楽：クイーンなど
好きな小説：三国志